

広まりつつある つながる 支援パック

出産できる病院で
「はじめての防災セット」
として活用始まる!

つながる支援パックを配布
している産院
 ◆かほ記念病院
 ◆浜松医科大学付属病院
 ◆浜松医療センター



被災者に支援物資をセットして
配布するための「つながる支援
パック」ですが、日頃は乳幼児用
品を入れて、いざという時に持ち
出すように使うこともできます。
そこから、産院を退院する産婦
に「出産祝い」のひとつとして配
布する浜松市内の病院があります。赤ちゃんにとっても「はじめて
の防災セット」であり、生まれた時から備えておくことの必要性を伝
えるためのものでもあります。

身近な人の出産祝いに、みなさんも
「つながる支援パック」を贈りませんか?



西日本豪雨 被災地広島へ届けました!!

西日本を中心に
降り続いた記録的な大雨「平成30年7月
豪雨」により大きな被害が出た広島県に、
「つながる支援パック」を支援物資として届
けました。
前回の熊本地震の時と同様に、SNSから
寄付を募り、皆さんのあたたかい支援によ
り、広島に届けることができました。ありが
うございました。



新しいQ&A 増えてます!

浜松で子どもをすくすく育てるためのQ&Aサイト

はますくQ&A

妊婦さんから未就学児の悩みに専
門家が答えている「はますくQ&A」は、
毎週、新着記事を掲載しています。
また、サイトのトップページの「お知ら
せ」や、LINEからタイムリーな記事の
お知らせを配信していますので、
チェックしてくださいね。
さらに『月間ランキング』では、月ご
とのアクセス数の多かった記事をク
ロースアップしています。

ムービーギャラリー



手遊びや子どもと
のかかわり方を
動画でチェック!



浜松市子育て情報センター 指定管理 3期目受託

がんばり
ます!

浜松市子育て情報センターの指定管理は5年間。
2018年度はちょうど10年目でもありました。
2018年8月に行ったプロポーザルで、2019~2023年
度の5年間の指定管理をまた行うこととなりました。



取材ママ・パパ 特派員メンバー よろしくね!



ぴっぴNAVI



子育てを楽しくもう!
そんなあなたを
ぴっぴが楽しく
ナビゲートします。

2018年度は 新たな挑戦の年でした!

土曜日開設 放課後児童会 事務局始めました!



放課後児童会になぜ関わるのか

巷では保育園の待機児童がニュースになりがちですが、同じように小
学生の放課後の居場所である『放課後児童会』でも、入りたくても入れ
ないという場合もあります。また、同じ浜松市内の放課後児童会でも、
運営団体によって開設状況や利用料が違うこともあり、さらに、指導員
や補助員の待遇・研修の機会などについての問題が浮かび上がって
いる状況です。ぴっぴはこのことについて、以前から課題と考え、浜松市
に対しても改善を提案してきました。そこで、まず最初の一步として、土曜
日に旧浜松市内で開設されている放課後児童会の事務局を、2018年
4月から受託しました。

平日の放課後児童会に入っている児童で、土曜日の利用を希望した
場合に、北エリアか南エリアの会場で利用することができます。年間で
のべ1,226名の児童が利用しました。

指導員の研修も日頃の子どものことのかかわりに役立つ講座を2回行い、
運営の中で気づいた問題点などを会議で共有し、運営を改善するた
めに役立てています。



よりよい運営のために意見交換が行われ、
指導員の先生方が普段感じていることや
考えていることを知ることができました。

放課後児童会データ集

放課後児童会数 **140**

中区38、東区23、西区19、南区17、北区17、浜北区22、天竜区4

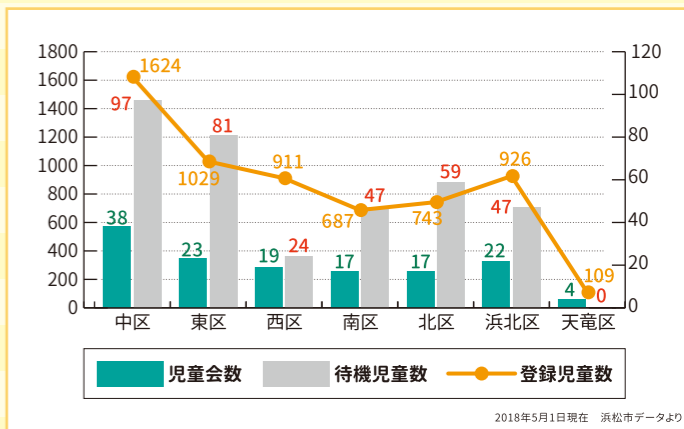
民間学童保育を含むその他の児童会数 **15**

放課後児童会登録児童数 **6,029名** 2018年5月現在

中区1,624名、東区1,029名、西区911名、南区687名、北区743名、
浜北区926名、天竜区109名

放課後児童会待機児童数 **355名** 2018年5月現在

中区97名、東区81名、西区24名、南区47名、北区59名、
浜北区47名、天竜区0名



2019年4月から 平日の放課後児童会の事務局も

子どもたちの安全・安心を踏まえ
て、2019年度より浜松市全体の今
後の体制を考慮するためのモデル
事業として4か所の放課後児童会
が委託方式に移行されました。

ぴっぴは2019年度、にしこの(西小
学校)、にこにこ(追分小学校)、中
部学園、中部学園第2(中部学園
中部小学校)の4か所の放課後児
童会を受託し運営していきます。

放課後児童会担当の倉崎で
す。「陽気に元気に生き生き
と」をモットーに、頑張ります!



いつも応援ありがとう!

ぴっぴをいつも応援してくれてありがとうございます! みなさんか
らの応援を背中を受けつつ、2019年度からも、まだまだ新しい挑
戦・継続的な事業展開・さらなるネットワーク構築に取り組んで
まいります。今後も応援よろしくお願いいたします。

ぴっぴは2018年1月より認定NPO法人になったため、寄付をして
いただいた場合には、寄付控除の対象となります。確定申告するた
めに、領収書を無くさないように保管してくださいね。

ぴっぴへの
寄付や、寄付控除について
の詳細についてはこちら



スタッフ募集(パート職員)

【仕事内容】ファミリー・サポート・センター事業の運営全般
 【必要経験】パソコンの基本操作(エクセル・ワード等)
 【歓迎要件】保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の免許
 【勤務時間】
 週3日交代制、
 9:00~17:00勤務



詳細・応募は
こちらから

ぴっぴについて 認定NPO法人 はままつ子育てネットワーク ぴっぴ

電話: 053-457-3418 FAX: 053-457-2901 E-MAIL: pippi@hamamatsu-pippi.net

◆ホームページ 子育て情報サイト <https://www.hamamatsu-pippi.net/>
 アドレス ぴっぴ法人サイト <https://npn.hamamatsu-pippi.net/>



私たちは、浜松市および周辺地域の
人々に対する子育てサポートを目的に、
子育て中の親の視点で考え、
子育てしやすいまちづくりを
目指して活動しています。



土曜開設放課後児童会
の詳細についてはこちら



運営ブログ
「放課後児童会」



ぴっぴとつながろう!

ぴっぴ facebook 検索

ぴっぴ twitter 検索

るる

ぴっぴ

2018年12月オープン

浜松市防災学習センター指定管理開始

《愛称》
はまぼ〜や
はま防〜家

指定管理を受けたわけ

2018年12月にオープンした浜松市防災学習センターの指定管理を遠鉄アシスト株式会社と共同体として受託しました。

びっぴは、2005年から防災講座を始めました。その頃は、防災組織の中に女性が入っていることが珍しい時代でした。子どもや子育て中の人の視点が足りないということに気付く「これではいけない!」と、子育て中の家族の防災力アップはもちろん、子育て中の人の周りの人にも、災害時には子どもや子育て中の人たちへの支援が必要であることを伝える講座を行い、これまでの参加者数は1万人を超えました。

その後、新潟県中越沖地震(2007年)、東日本大震災(2011年)、熊本地震(2016年)、北海道胆振東部地震(2018年)などの大地震だけでなく、昨年の西日本豪雨による土砂災害等、多くの被害が出る災害が続く、私たちの防災・減災への意識は高まりつつあります。

そんな時、「次世代の防災の担い手となる小・中学生を対象にした防災教育」をコンセプトにした「浜松市防災学習センター」の指定管理者の公募があったのです。

これまでに多くの指定管理を受けている遠鉄アシストの施設管理のノウハウと、びっぴがこれまで積み重ねてきたネットワークや講座・イベントの企画力で、請け負っていきます。

浜松市防災学習センター(はま防〜家)の詳細はこちら



防災学習センターで行った講座・イベント等はこちら



活用方法あれこれ

-  対象：小学5年生程度ならひとりでも理解できる案内や内容になっています。
-  内容：幼児から大人まで、楽しみながら、「知る」「感じる」「つながる」ことができる学習内容を提供しています。
-  タブレットやクイズ映像で学んだり、講座室や研修室の貸出(有料)有り。
-  園や学校、自治会や各種団体、あるいは、個人や家族などの防災教育に
-  予約すれば、アテンドが付きます。
-  駐車場あり。観光バスも停められます。

防災をわかりやすく伝えられるよう勉強中! 会いに来てね!




イベント・講座 いっぱい!!



4月27日(金)
杏林堂薬局主催
ベビーフェスタ

来場者3,000人という人気のイベント。子育て中の人に「子育てしやすいまちのイメージ」をアンケート調査しました。



5月24日(木)
取材スタッフ研修
文章作成・カメラ講座

毎年新しいメンバーを迎える取材スタッフ。文章やカメラ撮影が得意な人もそうでない人も、プロから教わると目からウロコが落ちる! 読者がすぐにでも行きたくなる記事づくりに役立っています!



6月9日(土)
取材スタッフ研修
花火講座

取材ママ・パパ特派員・スタッフの交流会を兼ねた、花火教室。消防士さんに安全な花火の楽しみ方を教えてもらいました。この時学んだことは、子育て耳より情報に掲載しています。花火をするときは、参考にしね!



6月13日(水)
ヤマハ労組主催
育休復職者交流会

育休復帰後は不安や不慣れなことが多い時期。同じ悩みを抱える人同士が助け合うための交流会でもあります。



7月23日(月)~26日(木)
遠鉄タクシー主催
こどもタクシードライバー養成講座

子ども連れや子どものおけいこの送迎のために、「こどもタクシー」で安心して親子の移動をサポートしている遠鉄タクシーの社会貢献のひとつに、びっぴは協力しています。ドライバーの皆さんに、子ども連れの移動の大変さを理解してもらい、子どもや保護者への配慮や信頼関係をつくるための講座です。



8月10日(金)
デコカレー講座

子育てサークルなどでも使いやすいような「サーラプラザ佐鳴台・食lab」で、夏休みに親子で料理講座。浜松産の食材を使ってデコカレー作りに挑戦しました!



10月26日(金)
シビック・パワー・バトル 2018

オープンデータを使って、浜松市がいかに子育てしやすいまちかを、他の県・市と競い合いました。プロジェクトには、静岡大学の学生も参加。フレッシュさと熟女(?)と開催地浜松の意地が会場を沸かせ、「オーディエンス賞」受賞です。これって、参加した人たちに伝えたかったことがしっかり伝わったということですね!!



11月15日(木)
静岡県主催
ふじさんっ子応援フェスタ

3年に1度、県西部で開催される子育て中の親子を対象にしたイベント。子育て中だからこそ知りたい防災の疑問を聞き取り調査し、後日、防災ブログで回答を掲載しました。



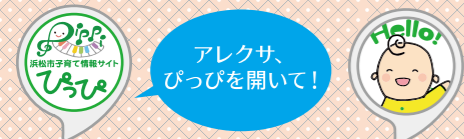
スマートスピーカーアプリ開発!!

●何ができるの?

Amazon Alexaスキル「びっぴ」と「びっぴのフラッシュニュース」で、浜松市子育て支援ひろばの開催情報や、びっぴからのお知らせを知ることができるようになりました。

- ・ハンズフリー
- ・お気に入りのひろばの情報が得られる。
- ・びっぴからの季節のトピックスなどが知らされる。

モニター100名を募集し、現在、新しいスキル開発に向けて調整中です。



※アレクサスキルは、Alexa Echoがなくても、スマホにアプリをダウンロードすれば使えます。

Amazon Alexaスキルについての詳細はこちら



ひとり親家庭等日常生活支援事業事務局を始めました!

どんな事業なのか?

一時的に生活援助や子育て支援を必要とする対象家庭に家庭生活支援員を派遣し、その生活を支援するものです。支援の内容は、「子育て支援」と「生活援助」があります。



ひとり親家庭等日常生活支援事業の事務局を始めたわけ

ファミリー・サポート・センターの事務局をやっていると、ひとり親の人からの依頼もあるのですが、この事業を使いたい場合は、浜松市に依頼しなければならず、1ヶ所で両方の事務局を担うことにより、運用の効率化を図るためにも、当事者の負担を減らすためにも良いと考えたからです。

どんな事業なのか?

そもそも、ひとり親家庭等日常生活支援事業というものの認知度が低く、利用が少ない状態でした。そのため、ファミサポの運用をする中で、対象者には同時に案内をし、希望があれば利用を促すことができます。また、足りない部分をファミサポで補うこともできるため、当事者視点に立って、2つの事業の良いところを組み合わせ、援助活動をすすめていきます。



1年で1500人弱が参加!
ぼうさいびっぴ

岐阜県垂井町・多治見市を含む全24回。アレルギーや障害のある家族向け・支援者などを対象にした講座、防災イベントへの参加依頼など、さまざまなスタイルの防災講座を行いました。防災講座の依頼は随時受付中です。



ママゼミ 参加企業が5社に! 1年で75講座、のべ参加者1000人超

浜松の地元企業が、子育て中のママのために学びや体験ができる場を多彩なテーマで企画する「ママゼミ」。子どもがいても気軽に参加できます。現在の参加企業は、エネジン(株)、かば記念病院、(株)杏林堂薬局、浜松いわた信用金庫、ミダックの5社。



大学との協働

大学の授業(静岡文化芸術大学・静岡文化芸術大学・聖隷クリストファー大学)や大学職員向け講座(浜松医科大学)、大学の事業協力など、行いました。

各区で7回開催出張マザーズコーナー

子育てと仕事を両立させたい方を応援している講座。浜松市・ハローワークマザーズコーナー・浜松・びっぴのワンストップサービスとして定着した講座。



母子手帳交付・転入時にもらえる「はままつ子育てガイド」

初めての子育ては不安でいっぱいになりがちなので、「子育てライフイベント」を掲載。遊び情報も満載で、人気の冊子です

